

5G 規格による通信端末などの高機能ウェアラブル機器の普及や、IoT による多様な電気・電子機器のネットワーク化により、システムの高性能化が図られ、ユーザビリティの向上を実現しています。一方で、このような新しいシステムにおける EMI（電磁干渉）問題や、電磁波による情報漏洩などのセキュリティ問題、更には多様な複合システムに対する EMC 規格の適用性問題など、解決を要する新たな技術課題も浮き彫りになってきています。そこで、本特集（2022 年 8 月号）では、これからの高機能・多様化するシステムの EMC 課題とその対策技術に関わる最新の研究成果及び新しいシステムに対する EMC 規格の動向などについて紹介を行います。なお、本テーマは取り扱う EMC 課題を限定するものではなく、多様なシステムの EMC を確保するための電磁妨害の抑制技術、イミュニティ確保のための対策技術更にはその評価法や、システムがつくる電磁環境下における生体 EMC の問題なども含め、幅広い領域からの EMC に関する知見と技術を共有することを目的とします。多くの皆様からの積極的な御投稿をお願い申し上げます。

## 1. 対象分野

EMC 計測、EMC モデリング、EMC 対策・部品、システムレベルの EMC、イミュニティ、通信・電力システムの EMC、ESD・過渡現象、生体 EMC、電磁波セキュリティ、回路基板設計、電磁遮へい・吸収技術、EMC 規格動向、など

## 2. 論文の執筆と取扱い

- 論文の執筆、査読の取り扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。  
[https://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](https://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html)
- 原則として、論文は刷り上がり 8 ページ、レターは同 2 ページを標準とします。
- 特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。
- 2021 年 4 月 1 日から非会員の投稿が可能になりました。

## 3. 主なスケジュール

投稿締切：2021 年 10 月 12 日（火）厳守

第 1 回判定通知：2021 年 12 月下旬を予定

最終判定通知：2022 年 3 月中旬～下旬を予定

掲載料支払期限：2022 年 4 月 25 日

発行月：2022 年 8 月号

（本特集の論文は採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。）

## 4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル（4 MB まで）並びに編集用電子ファイル（1 ファイルにつき 10 MB まで）をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局 <[wabun-b@ieice.org](mailto:wabun-b@ieice.org)> に御連絡下さい。

## 5. 特集編集委員会

編集委員長 川又 憲（東北学院大）

編集幹事 安在大祐（名工大）、戸花照雄（秋田県立大）

編集委員 五百旗頭健吾（岡山大）、石居正典（産総研）、井瀨貴章（阪大）、肖 鳳超（電通大）、日景 隆（北大）、山本真一郎（兵庫県立大）、吉田孝博（東京理科大）

## 6. 連絡先

戸花照雄（秋田県立大学知能メカトロニクス学科制御システム講座）

TEL [0184] 27-2226

E-mail : [tobana@akita-pu.ac.jp](mailto:tobana@akita-pu.ac.jp)